

輸出事業計画

※申請者名：九州農産物通商株式会社、品目：温州みかん

1. 輸出における現状と課題

①海外での温州みかんのニーズ

【台湾】

- ・Sサイズ周辺の小玉で、糖度が高く、クエン酸の低いみかんが好まれる。
- ・着色度合いにこだわりが強く、橙色がしっかり付いたものを好む。

【米国】

- ・米国産オレンジ等と違って皮が薄く、種もないため好評。
- ・大玉のかんきつに慣れているため、比較的大玉の青島温州等でも売れる。

【ベトナム】

- ・日本産温州みかんは解禁されたばかりのため、ニーズの把握・開拓はこれから。

②各国の輸出における課題

【台湾】

- ・定期的に変更される台湾側の残留農薬基準への対応が必要。
- ・福岡県産高糖度ブランド温州みかんの知名度不足。

【米国】

- ・ミカンバエ調査、果実表面消毒処理等の検疫条件への対応が必要。
- ・輸送コストが高く、現地産柑橘と比べて高価となる。

【ベトナム】

- ・ミカンバエ調査等の検疫条件への対応が必要。
- ・福岡県産温州みかんの知名度がない中で、安価な東南アジア産柑橘との競合。

2. 輸出事業計画の取組内容

①課題解決への取り組み

【台湾】

- ・専用の栽培暦作成等についてJA・JA全農ふくれんと連携し、農薬基準違反とならない園地づくりを行う。

【米国】

- ・表面殺菌処理にかかる作業の一部を機械化することで効率化を図る。

【ベトナム】

- ・新たにベトナム向け検疫対応を開始するにあたり、生産者・各JA・JA全農ふくれん、行政及び当社が協力し、令和4年度の生産園地登録及びその後の登録継続を目指す。

②輸出拡大の取り組み

- ・各国で福岡県産温州みかんの特徴をアピールし、福岡県産ブランドを浸透させる。
- ・特にベトナムは日本産温州みかんの知名度はほとんどないため、積極的に展開する。

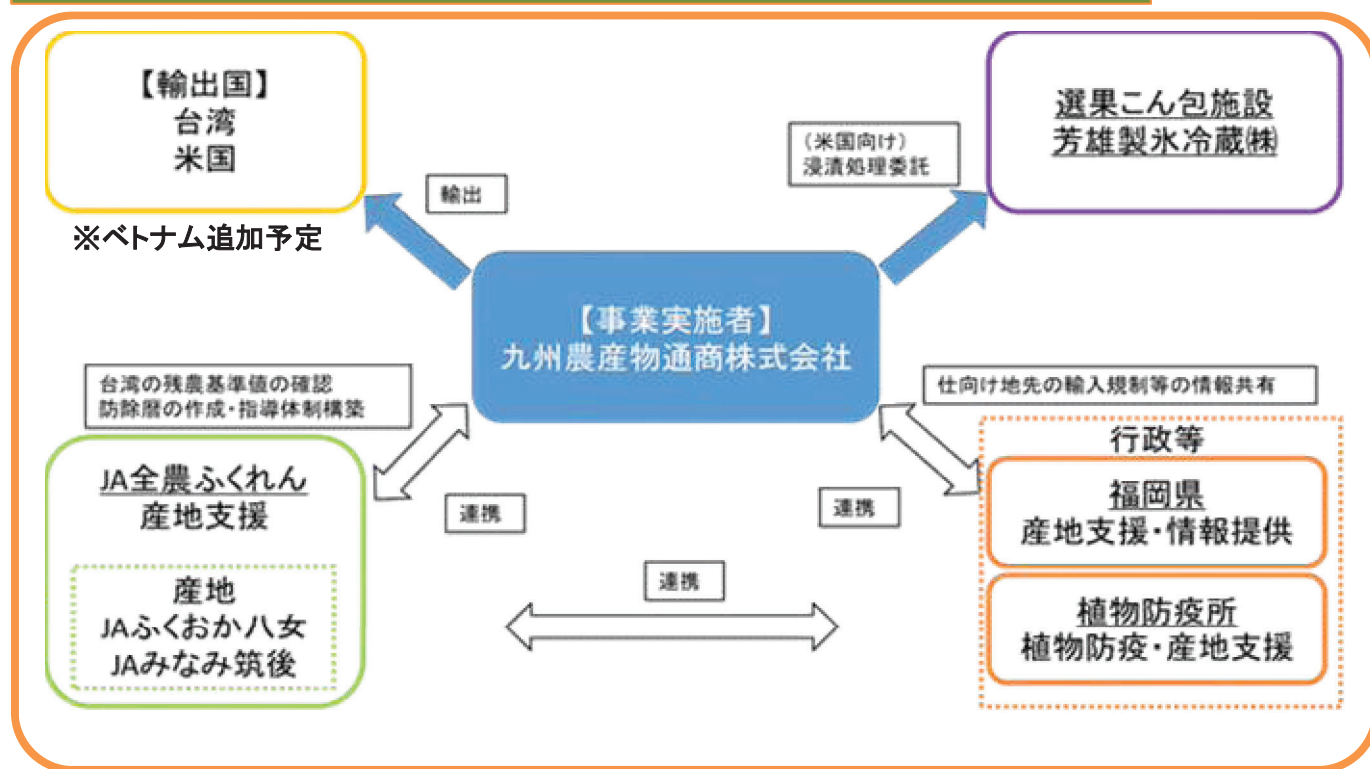


販促資材（ミニポップ）

輸出事業計画

※申請者名：九州農産物通商株式会社、品目：温州みかん

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

○JAみなみ筑後

	現状 (令和2年度)	目標年 (令和6年度)
輸出額	3,065 千円	6,000 千円
輸出量	7.9 t	17 t
輸出先国	台湾	台湾、米国、ベトナム

○JAふくおか八女

	現状 (令和2年度)	目標年 (令和6年度)
輸出額	5,435 千円	16,000 千円
輸出量	8 t	40 t
輸出先国	台湾、米国	台湾、米国、ベトナム